

2021年1月

風花号

東京歯科大学千葉歯科医療センター
医療連携NEWS デンタルドットコム

謹賀新年



【新年のご挨拶Ⅰ】

センター長 一戸 達也



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は新型コロナウイルス対応に明け暮れた1年でした。4月の緊急事態宣言の発出に基づき、千葉歯科医療センターは診療体制を大幅に縮小し、急患対応のみといたしました。6月から徐々に診療規模を拡大し、7月にはほぼ従前の診療体制に戻しました。8月以降は患者数も多い日は400～450名に戻りました。この間、患者様と先生方には多くのご不便をおかけしたことを改めてお詫びいたします。幸いにして、千葉歯科医療センターでは新型コロナウイルス感染者は1名も発生せず、職員一同、元気に診療にあたっています。

新しい千葉歯科医療センターの建物は昨年末に竣工し、現在は外構工事や内部のネットワーク等の敷設工事を行っています。今後、現在の千葉歯科医療センターで使用しているCT等の大型機器の移設の後、3月9日(火)に新センターを開院する予定です。このため、2月26(金)から3月8日(月)まで、現在の千葉歯科医療センターを休診させていただく予定です。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

新センターは40台の歯科用ユニットが設置されます。このうち1台は障害者等に対する日帰り全身麻酔下歯科治療が可能です。加えて、インプラントおよび口腔外科小手術のための全身麻酔が可能な手術室や摂食嚥下リハビリテーションのための嚥下造影検査室を設置しました。一方、入院施設の他、内科外来や臨床検査室は廃止いたします。このため、従来ご依頼いただいていた味覚検査、薬物アレルギー検査(リンパ球幼若化試験)、金属アレルギー検査などは実施できなくなります。しかし、すでにご案内させていただいていますように、入院・全身麻酔下での口腔外科手術やこれらの臨床検査はすべて本学の市川総合病院で実施可能です。千葉歯科医療センターと市川総合病院とが綿密な連携をとり、高い品質の医療を提供すべく、一層努力して参ります。

新センターでは、診療室の規模およびスタッフの体制から、マイクロスコープを使用した歯内療法症例や補綴の難症例を含む一部の患者様につきましては、診療開始までに1年以上お待たせすることが予測されています。このため、予約を制限させていただく可能性があります。患者様と先生方に大きなご不便をおかけすることになると思いますが、何卒ご理解をいただければと思います。これらの患者様につきましては、水道橋病院にご紹介いただけると幸いです。また、一般的な歯科治療を要する患者様につきましては、逆紹介をさせていただいております。引き続き、先生方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年3月に新センターの診療が開始しても、しばらくの間は運営等でご不便をおかけすることもあるかと思いますが、職員一同できるだけ早くスムーズな診療体制とすべく努力して参ります。

この一年が先生方にとって素晴らしい年となりますようお祈りするとともに、千葉歯科医療センターへの変わらぬご支援をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

【外観】



【診療室1】



【診療室2】



【新年のご挨拶Ⅱ】

医療連携委員長 杉山 哲也



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は緊急事態宣言発出中、当センターは急患対応となり、先生方には大変ご迷惑をおかけいたしました。withコロナの時代ともいえる感染者数の高止まりが続く今後も、我々医療従事者は十分な感染予防対策を講じながら診療を続けていかなければなりません。

そんな中、新センターの開院が3月9日(火)に決定いたしました。現センターでの診療は2月25日(木)までとなり、2月26日(金)から3月8日(月)まで休診とさせていただきます、引っ越しおよび新センターでの診療が円滑に行われるよう準備を行う予定です。場所がコンパクトになるだけでなく、運用に関わる様々なシステムが変わるため、開院当初は多少の混乱があるかもしれません。できるだけ早くスムーズな診療体制が取れるよう準備していく予定です。そのうえで新年度からは診療時間も延長し、今まで以上に先生方との連携を取っていければと思っております。

これまでは大学病院の建物をそのまま使用し、大学移転に伴う人員の減少に見合うように規模を縮小しながら診療を行ってきましたが、新センター開設を機に、名実ともに千葉歯科医療センターとしての役割を果たしていくことになります。地域の先生方のご要望に十分に答えられるよう、職員一同、力を合わせて努力して参りたいと思います。今年一年が良い年となることを祈念するとともに、先生方の変わらぬご支援をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策

当センターでは、感染予防対策指針を策定し「感染しない」「させない」を合言葉に、職員の感染予防対策を強化しています。また、医療人として、以下のようなことに留意ながら日常生活を送っています。

まだまだ、先の見えない状況ですが今後も継続して感染予防に努めてまいります。

◆健康管理

- ・毎朝検温を行い、自身の健康管理・体調をチェックする。
- ・体調に異常を感じた場合や自身及び同居する家族が濃厚接触と判断された場合など、感染している可能性がある場合は出勤しない。

◆通勤

- ・自転車、自動車での通勤が可能であれば、極力利用する。
- ・公共交通機関で通勤する場合は、マスクの装着を励行し、できるだけ混雑車両は避ける。

◆食事・会食

- ・勤務中の食事は原則一人です。食事の際は会話を控え、壁に向かうなど飛沫に注意する。また、食事をしている人の周りでは談笑しない。
- ・家族以外との会食・懇親会・宴席等の禁止。
- ・年末年始の帰省時等に友人などから会食に誘われた場合も、多人数での会食、宴会(酒席)は一段とリスクが高いことから医療人として断る勇気を持つ。
- ・一人または家族と外食する場合には、利用する店が感染対策を十分に行っているか、客席間の距離などスペースが確保されているかなどを確認し、大声を出す客がいる場合には店を変えることも厭わない。

診療科からのお知らせ

【保存科から】

現在、保存科では紹介状を持参された患者様が予約を取るまでに半年以上お待ちいただいている現状です。また、本年1月より常勤が4名、特に紹介内容が集中している歯内療法の専門医が1名になり、新年度からは一般歯科として、研修歯科医の指導を主として行っていく為、新たな患者様を受け付けるのが、大変難しい状態となります。

つきましては、診療が早期に開始できるよう新規ご紹介いただく患者様および専門的な保存治療が必要な患者様は今後、本学水道橋病院保存科にて対応させていただく予定で検討しております。

先生方にはご不便をお掛けし大変恐縮ですが、ご理解いただけますようお願いいたします。

